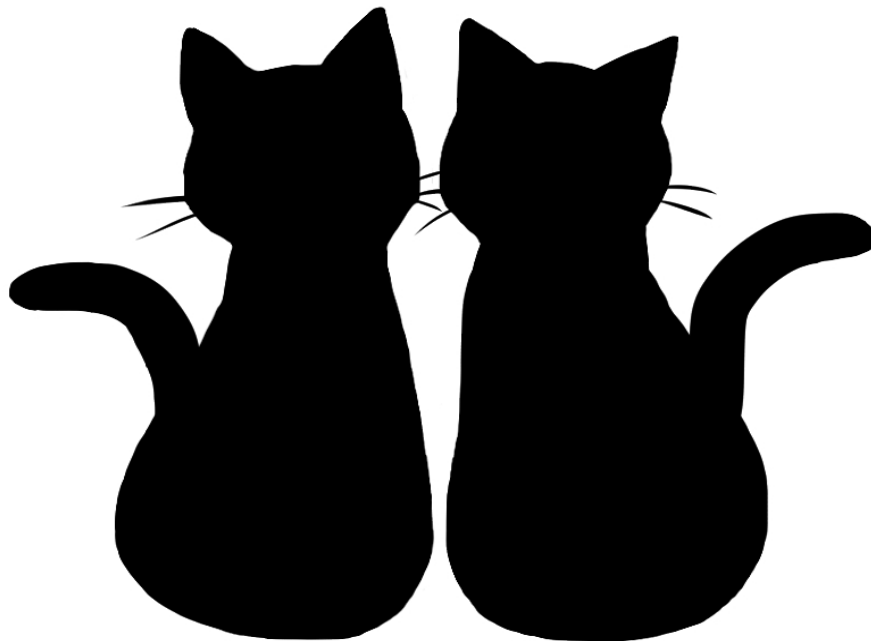


社会福祉法人 日野市民たんぽぽの会

幡

vol.27

「2022（令和4）年度 活動及び会計報告集」



1. 巻頭言

巻頭言	1
法人沿革	2～3

2. 2022（令和4）年度 事業報告

日野市民たんぽぽの会 法人本部	4～5
就労継続支援B型事業所 たんぽぽたかはたセンター	6～7
就労継続支援B型事業所 たんぽぽひのセンター	8～9
就労継続支援B型事業所 くつろぎ	10～11
地域生活支援センターゆうき	12～18
共同生活援助（グループホーム）ヴィレッヂたんぽぽ	19～21
障害福祉サービス 居宅介護事業所 ういず	22～23
介護保険法 訪問介護支援事業所 ヘルパ-センターういず	24～25
メンタルヘルスケア事業	26

3. 2022（令和4）年度 会計報告

資金収支計算書	28～29
事業活動計算書	30～31
貸借対照表	32～33
財産目録	34～35

4. その他

寄附の御礼	36
福祉サービスに関する苦情解決の取り組みについて	37
法人役員紹介	38
法人各事業所連絡先	39

『 巻頭言 』

社会福祉法人日野市民たんぽぽの会
理事長 野田清大

みなさま、こんにちは。理事長の野田でございます。

新型コロナウイルス感染症は2023年5月に、2類相当感染症から5類相当感染症に変更になりました。しかし、新型コロナ感染症がなくなったわけではなく、2023年9月現在、定点観測で19人、1300人ほどの入院患者さんがいます。この数字は、ある程度の感染流行の中でわたしたちは生活をしていることになります。重症者は減りましたが、学校からは新型コロナ感染症による学級閉鎖も報告されています。まだまだ新型コロナ感染症前の状況にもどるには時間が必要です。

日野市民たんぽぽの会の各事業も概ね元の状態に戻りつつあるものの、感染症と日常生活、利用者さんの将来のご希望等、先を見据えて対策を立てていかなければなりません。

就労継続支援B型事業所である、たんぽぽたかはたセンター、たんぽぽひのセンター、くつろぎでは、利用者さんと共に感染対策を行い、スペースの確保やプログラム提供時間の工夫を行い、利用者さんのご希望に沿うように利用できるようになってきています。

また、感染への不安からご利用時間や日数を少なくされた利用者さんもいましたが、今は少しでも元に戻せるよう話し合いながら、支援を行っています。

共同生活援助ヴィレッジたんぽぽでは、感染対策を継続しながら、徐々に利用者さん同士による交流も再開しています。

居宅介護事業所ういずでは、登録ヘルパーの数が減少していますが、利用者さんの状態に変化（不安定さ等）がある時も、感染対策を取りながら在宅での支援を継続してきました。しかし、感染への不安や外出の機会が減ってしまった利用者さんへの対応等も加わり、新型コロナ感染症前の状況とは違ってきています。

地域生活支援センターゆうきでは、相談支援において、外出を控えていたコロナ禍に比較すると、現在、新規の相談件数もかなり増えてきました。一方で高齢の家族と同居している方、不安が強い方では、障害福祉サービスの利用を控える等、積極的に動きづらいう話も耳にしています。これからも感染症と共存しながら、利用者さん、職員ともに安心して事業を継続利用できるように努めていきたいと考えています。

ガソリン、電気代に代表される物価高騰、ロシアとウクライナの戦争が長期化する中での国際秩序に対する不安、地球沸騰と表現される異常気象等、不安な材料が多く暮らしにくい時代です。私たちも障害のある方々も先行きが見えづらく、不安な気持ちを抱え易い状況といえます。その中で地域の皆様のご協力を得て、みんなで情報交換をしながら、力を合わせて、今後も障害や病気を抱えている方々の自立を支えていきましょう。

社会福祉法人日野市民たんぽぽの会 沿革

1986（昭和61）年

11月 「共同作業所たんぽぽの家」を利用者6名で開所。

1987（昭和62）年

10月 たんぽぽの家に対して東京都より作業所として補助金（精神障害者共同作業所通所訓練事業）が交付される。運営主体を「日野市たんぽぽの会」と命名する。

1993（平成5）年

10月 日野市たんぽぽの会にて「共同作業所あんだんて」を利用者17名で開所。

1994（平成6）年

4月 あんだんてに対して東京都より補助金が交付される。

1995（平成7）年

10月 日野市たんぽぽの会にて「共同作業所彩菜亭」を8名で開所。

1996（平成8）年

4月 彩菜亭に対して東京都より補助金が交付される。

1997（平成9）年

12月 「社会福祉法人日野市民たんぽぽの会」が認可される。
「日野市たんぽぽの会」を「あんだんての会」と改名する。

1998（平成10）年

3月 「共同作業所たんぽぽの家」閉所。

4月 「通所授産施設たんぽぽの家」開所。

10月 「地域生活支援センターゆうき」開所。

2000（平成12）年

5月 あんだんての会にて「共同作業所くつろぎ」開所。

2001（平成13）年

10月 くつろぎに対して日野市より補助金が交付される。

11月 「ホームヘルパー2級養成講座」を東京都より認可を受け開講。

2002（平成14）年

10月 「精神障害者ホームヘルプサービス事業（ういず）」開始。

「精神障害者グループホームヴィレッヂたんぽぽ」開所。

あんだんてと彩菜亭が小規模通所授産施設へ移行。くつろぎも含めて社会福祉法人日野市民たんぽぽの会の運営となる。

12月 あんだんての会解散。

日野市より「高齢者生活管理指導員派遣事業」をゆうきが受託。

2003（平成15）年

1月 「精神障害者ホームヘルパー養成講座」を東京都より認可を受け開講。

2004（平成16）年

9月 日野市より「精神障害者緊急在宅サポート事業」をゆうきが受託。

2005（平成17）年

10月 日野市の精神障害者社会的自立支援事業による生活指導員派遣依頼が実施。

2006（平成18）年

4月 ういずが東京都より認可を受け障害者自立支援法（居宅介護事業他）へ、ヴィレッチたんぽぽが東京都より認可を受け障害者自立支援法（共同生活援助事業）に移行。

6月 介護保険事業として「ヘルパーセンターういず」と「ケアマネジメントセンターういず」が東京都より認可を受ける。

10月 地域生活支援センターゆうきが日野市より委託を受け、障害者自立支援法による地域活動支援センターと指定相談事業に移行。

2007（平成19）年

11月 日野市障害福祉人材育成事業を受託。

2009（平成21）年

7月 社団法人日野市勤労者福祉サービスセンターより「メンタルヘルスケア事業」を受託。

10月 日野市より生活保護「金銭管理プログラム支援事業」及び「健康管理プログラム支援事業」を地域生活支援センターゆうきが受託。

2010（平成22）年

1月 通所系4施設の事業所機能の見直しを行う。

2011（平成23）年

11月 「小規模通所授産施設あんだんて」及び「小規模通所授産施設彩菜亭」閉所。

12月 「就労継続支援B型事業たんぽぽひのセンター」開所。

2012（平成24）年

3月 「通所授産施設たんぽぽの家」及び「共同作業所くつろぎ」閉所。

4月 「就労移行支援事業わーく」、「就労継続支援B型事業たんぽぽたかはたセンター」、「就労継続支援B型事業くつろぎ」開所。

地域生活支援センターゆうきが「指定特定相談支援事業者」の指定を受ける。

5月 地域生活支援センターゆうきが「指定一般相談支援事業者」の指定を受ける。

2018（平成30）年

5月 「就労移行支援事業わーく」休止。

8月 「ケアマネジメントセンターういず」休止。

2019（令和元）年

5月 「就労移行支援事業わーく」事業廃止。

「ケアマネジメントセンターういず」事業廃止。

6月 「就労継続支援B型事業くつろぎ」、「共同生活援助ヴィレッチたんぽぽ」移転。

2021（令和3）年

3月 日野市障害福祉人材育成事業受託終了。

社会福祉法人 日野市民たんぽぽの会 本部

2022(令和 4)年度 事業報告

1. 理事会開催内容

	開催日	会場	主な内容
1	2022年 6月6日	WEB会議 (Zoom)	(報告事項) 理事長業務執行状況報告 (協議事項) 各事業の2021年度事業報告・決算報告、決算・計算関係書類及び財産目録等、監事監査結果報告、経理規程の改訂案、定款変更について、法令遵守規程案、定時評議員会の招集について
2	2022年 6月22日	WEB会議 (Zoom)	(協議事項) 理事長の選任について
3	2022年 10月26日	WEB会議 (Zoom)	(報告事項) 理事長業務執行状況報告 (協議事項) 日野市指導監査結果通知に基づく改善状況報告について たんぽぽたかはたセンター積立金の取崩について
4	2022年 12月14日	書面 (決議省略)	(協議事項) 定款変更について 評議員会の招集について
5	2023年 3月20日	WEB会議 (Zoom)	(報告事項) 理事長業務執行状況報告 (協議事項) 2022年度の本部拠点・たかはた拠点・ひの拠点の各補正予算案、各事業の2023年度事業計画案、各拠点区分の予算案、ういず人件費積立金の取崩について

2. 評議員選任・解任委員会開催内容等

	開催日	会場	主な議案内容
1	なし		

3. 評議員会開催内容

	開催日	会場	主な内容
1	2022年 6月22日	WEB会議 (Zoom)	(報告事項) 2021年度事業報告、監事監査結果報告、理事長業務執行状況報告 (協議事項) 定款変更について 決算・計算関係書類及び財産目録等 理事の選任について
2	2022年 12月24日	書面 (決議省略)	(協議事項) 定款変更について

4. 法人が運営する事業

第2種社会福祉事業

障害者福祉サービス事業： 就労継続支援B型事業 たんぽぽたかはたセンター
 就労継続支援B型事業 たんぽぽひのセンター
 就労継続支援B型事業 くつろぎ
 共同生活援助 ヴィレッヂたんぽぽ
 居宅介護・重度訪問介護・行動援護 ういず
 地域活動支援センター： 地域生活支援センターゆうき
 一般相談支援事業： 地域生活支援センターゆうき
 特定相談支援事業： 地域生活支援センターゆうき
 移動支援事業： ういず
 老人居宅介護等支援事業： ヘルパーセンターういず

*2023年4月7日付法人の事業の変更について登記終了、公益事業は廃止

公益事業

日野市障害福祉人材育成事業・・・2020年度 日野市からの委託が終了
 2021年度 預金口座の管理を終了
 2023年3月30日付定款変更の認可

*会計の拠点区分

本部拠点	法人本部
たかはた拠点	たんぽぽたかはたセンター（就労継続支援B型） 地域生活支援センターゆうき （地域活動支援・一般相談支援・特定相談支援） ういず （居宅介護(障害)、行動援護(障害)、重度訪問介護(障害)、移動支援(障害)） ヘルパーセンターういず（訪問介護(介護)）
ひの拠点	たんぽぽひのセンター（就労継続支援B型） くつろぎ（就労継続支援B型） ヴィレッヂたんぽぽ（共同生活援助）

5. その他

- 日野市指導監査の実施：2022年9月9日
 （指摘事項）法人の目的及び業務を変更した場合、定款変更認可後2週間以内に登記しなければならない。変更の登記が行われていない為、速やかに登記を行うこと。
 （改善状況報告）2020年3月30日付定款変更認可の登記(目的等)を東京法務局にて登記の手続きを行う。2022年10月17日登記完了。
- 法人監事監査実施日：2022年6月3日(事業運営その他)、6月2日(会計)
- 法人情報の公開：ホームページ <http://www.hinoshi-tanpopo.jp/>
 ホームページの内容について見直しを協議中
- 「幡」の編集・発行：2022年9月30日付で発行
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策等の実施
 - ・各事業での感染防止対策の徹底、事業・活動の内容の見直しと拡充を図る
 - ・管理責任者会議や職員会議等で、WEB会議の導入(Zoomの使用)

就労継続支援 B 型事業 たんぽぽたかはたセンター

2022(令和 4)年度 事業報告

1. 運営

1) 通所者利用状況 (定員 40 名)

- ・利用者総数 (2022 年 4 月～2023 年 3 月) 35 名
- ・在籍者数 (2023 年 3 月末) 33 名
- ・年間延べ人数 4305 名 開所日数 243 日 平均利用者数 17.7 人/日
- ・新規登録者数 2 名
- ・退所者数 2 名 (就労 1 名、その他 1 名)

2) 職員体制

- ・管理者、サービス管理責任者 1 名
- ・生活支援員 常勤職員 1 名 非常勤職員 1 名
- ・職業指導員 非常勤職員 4 名 ・目標工賃達成指導員 非常勤 1 名
- ・資格取得 精神保健福祉士 2 名 社会福祉士 1 名

3) 開所日時

- ・週 5 日制 (土日及び祝祭日は原則として休み)
- ・利用者：月曜日～金曜日 9 時 10 分～17 時 00 分
- ・職員：月曜日～金曜日 9 時 00 分～18 時 00 分

2. 財源の確保

- ・訓練等給付費
- ・補助金 (東京都、日野市)
- ・利用者負担金 他

3. プログラム

1) 就労支援プログラム

- ・弁当事業：事業所及び地域住民への弁当作成及び配食事業
弁当作成に関する調理、仕入、在庫管理、会計 他
- ・下請事業：ダイレクトメールの封入、作業資材搬出入、資材管理 他
- ・工賃支給総額 2,805,301 円 ・平均工賃月額 7,602 円

2) その他

- ・全体ミーティング

4. 健康管理

- ・日野市特定健診
- ・細菌検査

5. 関係機関との連携

- ・地域生活支援センターゆうき、日野市障害福祉課、生活福祉課、高齢福祉課、包括支援センター、居宅介護支援事業所、七生特別支援学校他

6. 研修

- ・法人内部研修
相談支援研修、障害者差別解消研修、防災研修、虐待防止・身体拘束適正化研修、権利擁護研修、情報セキュリティ・個人情報保護研修

7. 虐待防止対応

- ・虐待防止対応規程の制定、及び虐待防止対応マニュアルの整備
- ・虐待防止委員会及びリスクマネジメント委員会の開催
- ・虐待防止対応に関する研修の実施

8. その他

- ・安全管理、防災管理点検の実施
- ・七生特別支援学校からの体験実習の受け入れ 2 名
- ・防災訓練の実施
- ・「福祉サービスに関する苦情解決への申し出」に対する受付なし

9. 総括

1) 利用者

- ・2022 年度は 33 名の利用者でスタートし、新規登録者 2 名、退所者 2 名。1 日あたりの平均利用者数は 17.7 人の利用がありました。
- ・利用者やその家族、関係機関等と面談やケースカンファレンス等を通じ、利用目的、疾病や障害による生活のしづらさ等を確認し本人の役割、関係機関等の役割、事業所の役割を明確にして個別支援計画を作成しました。

2) 就労支援プログラム

A. 弁当事業

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の為、利用者プログラムとしては若干縮小した形ではありましたが、1 日通して作業に入れる枠、午前のみ午後のみ枠、数時間の枠など様々な作業への入り方を工夫しながら進めました。また、工賃向上を意識し、注文食数を少しずつ増やす事を行いました。
事業所としての利用者数全体から考えると 3 割程度の方しか従事出来ていない状況の為、より多くの方に従事してもらえる作業をどう切り出していくか継続課題となりました。

B. 下請事業

- ・昨年度に引き続き感染予防対策として、一人一席の作業机、間隔を空けての配置、午前の部、午後の部と分けてのプログラムとなりました。
- ・個別の座席、対面ではないレイアウトにした事で集中して作業に取り組めるという効果が生まれています。
- ・作業時間が短くなっている事で工賃が上がりづらい状況を改善していく事が課題として残りました。

C. 就労支援講座

- ・今年度は感染拡大予防の為講座としては中止とし、個別ケースでの対応としました。

3) 事業所運営

- ・2022 年度は昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大予防への取り組みの継続を中心とした中での運営となりました。
通所時の検温、マスク着用、手指消毒の徹底、30 分の 1 度の換気、館内消毒、作業等で使用した物すべて毎回消毒等の徹底した感染予防対策と皆様のご協力のもと、活動を止める事なく 1 年間継続する事が出来ました。
- ・コロナ禍が長期化している事で、サービス提供の幅を広げ切れない状況がありました。次年度以降、感染対策を念頭に置きながらも、皆さんの充実度を上げていける運営を目指していく事が必要です。

就労継続支援 B 型事業 たんぽぽひのセンター

2022(令和 4)年度 事業報告

1. 運営

1) 利用者状況 (定員 40 名)

- ・利用者総数 (2022 年 4 月～2023 年 3 月) 34 名
- ・在籍者数 (2023 年 3 月末) 31 名
- ・年間延べ利用者数 5020 名 開所日数 241 日 平均利用者数 20.8 人/日
- ・新規登録者数 2 名
- ・退所者数 3 名 (他サービス 2 名、その他 1 名)

2) 職員体制

- ・管理者、サービス管理責任者 1 名
- ・生活支援員 常勤 1 名 非常勤 1 名
- ・職業指導員 非常勤 3 名
- ・資格取得 精神保健福祉士 3 名

3) 開所日時

- ・週 5 日制 (土日及び祝祭日は原則として休み)
- ・利用者: 月曜日～金曜日 9 時 10 分～17 時 00 分
- ・職員: 月曜日～金曜日 9 時 00 分～18 時 00 分

2. 財源の確保

- ・訓練等給付費
- ・補助金 (東京都、日野市)
- ・利用者負担金 他

3. プログラム

1) 就労支援プログラム

- ・ダイレクトメール作成、マンション清掃、資材管理、館内清掃 他
- ・工賃支給総額 2,291,148 円 平均工賃月額 6,364 円

2) その他

- ・全体ミーティング

4. 健康管理

- ・日野市特定健診
- ・個別健康相談

5. 関係機関との連携

- ・地域生活支援センターゆうき、日野市障害福祉課、生活福祉課、高齢福祉課、包括支援センター、居宅介護支援事業所他

6. 研修

- ・法人内部研修
相談支援研修、障害者差別解消研修、防災研修、虐待防止・身体拘束適正化研修、権利擁護研修、情報セキュリティ・個人情報保護研修

7. 虐待防止対応

- ・虐待防止対応規程の制定及び虐待防止対応マニュアルの整備
- ・虐待防止委員会及びリスクマネジメント委員会の開催
- ・虐待防止対応に関する研修の実施

8. その他

- ・安全管理、防火管理点検の実施
- ・ボランティアの受け入れ
- ・精神保健福祉援助実習学生の受け入れ
- ・防災訓練の実施
- ・「福祉サービスに関する苦情解決への申し出」に対する受付なし

9. 総括

1) 利用者

- ・2022年度は32名の利用者でスタートし、新規に2名を受け入れ、3名の方が退所されました。2022年度の1日あたりの平均利用者数は20.83名でした。
- ・利用者やその家族、関係機関等と面談等を通じて利用目的、疾病や障害による生活のしづらさ等を確認し本人の役割、関係機関等の役割、事業所の役割を明確にして個別支援計画を作成しました。その個別支援計画に基づいて所属するグループを本人と共に確認し、その中で同じような目標を持った方たちがお互いに刺激しあい目標に向けて活動しています。

2) 就労支援プログラム

- ・2022年度もダイレクトメール作成、庁内作業を中心に、マンション清掃プログラムの提供を行いました。マンション清掃プログラムは現在3名の利用者の方が作業に従事しています。
- ・ダイレクトメール作成、庁内作業で職員が担っていた部分の仕事を利用者の方にも担当してもらい、より責任感や「仕事」に携わっているという意識を持ってもらえるように工夫をしています。
- ・就労支援プログラムとして安定した作業の提供ができる体制は取れています。次年度は作業受注量を増やす体制を整え、工賃アップへの取り組みが課題となっています。

3) 事業所運営

- ・2022年度も新型コロナウイルス感染症予防対策として、利用者テーブル・ロッカーの消毒、換気、手指消毒、マスクの着用等の感染症対策を取りながら事業を継続しました。
- ・新型コロナウイルス感染者、濃厚接触者と判断され自宅待機となった利用者に対しては、電話での健康状態の確認や在宅作業の提供を行いました。
- ・利用者受け入れにおける新たな取り組みとして、セルフプラン利用者の受け入れを開始しました。

就労継続支援 B 型事業 くつろぎ

2022(令和 4)年度 事業報告

1. 運営

1) 利用者状況 (定員 20 名)

- ・利用者総数 (2022 年 4 月～2023 年 3 月) 20 名
- ・在籍者数 (2023 年 3 月末) 17 名
- ・年間延べ利用者数 2173 名 開所日数 243 日 平均利用者数 8.9 人/日
- ・新規利用者数 1 名
- ・退所利用者数 3 名(転居、長期入院、介護保険サービスへ移行)

2) 職員体制

- ・管理者、サービス管理責任者 1 名
- ・生活支援員 非常勤 1 名
- ・職業指導員 非常勤 1 名
- ・資格取得 精神保健福祉士 3 名、社会福祉士 1 名

3) 開所日数

- ・週 5 日制 (土日及び祝日は原則として休み)
- ・利用者：月曜日～金曜日 9 時 30 分～17 時 00 分
- ・職員：月曜日～金曜日 9 時 00 分～18 時 00 分

2. 財源の確保

- ・訓練等給付費
- ・補助金 (東京都、日野市)
- ・寄付金 等

3. プログラム

1) 就労支援プログラム

- ・製造作業：年賀状、アメリカンたわしの製造販売
- ・下請作業：ダイレクトメール作成他
- ・工賃支給総額 310,044 円 ・平均工賃月額 1,606 円

2) その他

- ・ミーティング、清掃、買い物など生活に係る訓練

4. 健康管理

- ・日野市特定健診
- ・個別健康診断、相談(通院医療機関)

5. 関係機関との連携

- ・地域生活支援センターゆうき、日野市障害福祉課、生活福祉課、高齢福祉課、包括支援センター、居宅介護支援事業所他

6. 研修等の参加

- ・2022 年度東京都障害者虐待防止・権利擁護研修 (東京都福祉保健財団)
- ・2022 年度第 2 回東京都サービス管理責任者実践研修及び児童発達支援管理責任者実践研修 (公益財団法人総合健康推進財団)
- ・法人内部研修

相談支援研修、障害者差別解消研修、防災/感染研修、虐待防止・身体拘束適正化研修、権利擁護研修、情報セキュリティー・個人情報保護研修

7. 虐待防止対応

- ・虐待防止対応規定の制定及び虐待防止対応マニュアルの整備
- ・虐待防止委員会及びリスクマネジメント委員会の開催
- ・虐待防止対応に関する研修の実施

8. その他

- ・安全管理、防火管理点検の実施
- ・防災訓練の実施
- ・「福祉サービスに関する苦情解決への申し出」に対する受付なし

9. 総括

1) 利用者

- ・年度当初は 19 名の利用者でスタートし、新規登録者 1 名、退所者 3 名の変動があり 3 月末時点で、17 名の方が在籍しています。新規登録者 1 名は、日野市のデイケア卒業後の移行者です。退所者 3 名の退所理由は、転居、長期入院、介護保険サービスへの移行です。一日の平均利用者数は 8.9 名です。
- ・主体的な生活と自己実現を目指し、利用者一人ひとりの特性、生活のしづらさ、自立に向けての意欲・希望・能力、ご家族の希望を把握し、サービス等利用計画と連動した個別支援計画を作成し、支援者で共有して支援を実施してきました。
- ・コロナ禍による、低下した活動量・体力の回復の為、個々の体調に合わせた通所日数や時間等の調整、環境の整備をしました。
- ・ひとりの利用者から、“もっとコミュニケーションを取りたい”と始めた挨拶活動は利用者同士の挨拶の交わり合いへ広がり、自らの意思で声を出して皆（全員）に挨拶できるようになるなど、コミュニケーションの輪が広がるとともに、心身の健康の増進を図ることができました。今後も挨拶活動を続けながら、社会参加や生活の質を向上する場の提供をしていきます。

2) 就労支援プログラム

- ・下請け作業や製造作業を通して、お仕事の楽しさや満足感、達成感を感じられ、苦手とされる方が多いコミュニケーションをとれやすくするよう、作業内容や工程を検討し工夫することでプログラムの活性化に取り組みました。
- ・工賃アップに向けた取り組みとした、製造製品（アメリカンたわし）を東京都福祉局主催の自主製品販売イベントや物品買入れ及び役務提供状況の都ホームページへの掲載を行いました。販売促進には至りませんでした。
- ・工賃支給については、時給を 10 円アップと賞与の支給ができましたが、東京都の目標工賃月額には達成していません。
- ・生活訓練を兼ねた就労プログラム立ち上げの足掛りとして、利用者主体で庭を利用した活動（園芸部で野菜や花を作る）やイベント（お祭り、初詣、くつろぎ周辺の散策、掃除、買い物）を行いました。

3) 事業所運営

- ・経費の節減や事務処理の効率化、各研修への参加、第三者評価結果に基づいた利用者支援の充実へ向けて取り組みました。
- ・自然災害発生時における業務継続計画作成へ向け、検討及び備品整備を行いました。
- ・新規利用者受け入れにおける新たな取り組みとして、セルフプラン利用者の受け入れを開始しました。
- ・前年度同様に新型コロナウイルス感染予防対策を実施しました。

地域生活支援センターゆうき

障害者等相談支援事業及び相談支援機能強化事業

2022(令和4)年度 事業報告

1. 運営

- 1) 対象地域 日野市
- 2) 職員体制 常勤3名 非常勤4名
- 3) 開所日時 月曜日～金曜日 9時30分～17時30分
(ただし、祝日及び12月29日～1月3日は休館日、その他臨時休館日)
- 4) 利用対象 日野市在住者で、主として心の病の方及び家族、関係機関
継続での相談や地域活動支援センター事業の併用利用希望時は会員登録制

2. 財源

- ・障害者総合支援法による指定特定相談支援事業・指定一般相談支援事業・地域活動支援事業（I型）を一体的に運営し、日野市からの受託（委託契約費等）による

3. サービス内容

1) 障害者等相談支援事業の実施

- ・面接、電話、訪問による個別相談を実施、面接や訪問については、原則として予約制で行っています。メールやZOOM、時間外などの相談は、主として登録会員を対象に、個別の状況に応じて柔軟に対応しています。

- ・以下の内容について、個別の状況に合わせ、必要な相談やサポートを行っています。

①障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス等の利用にかかる情報の提供や相談等

- ・必要なサービス等に関する資料の手渡し、事業所への問い合わせ、見学同行等を行い、利用したいサービス、事業所と当事者の方の希望や動機等について話し合います。

②各種の支援施策を含む社会資源の活用等

- ・必要な制度や社会資源等の情報提供、利用・手続き等に関する問い合わせ、同行等について、当事者の方のサポートをします。

③社会生活力の向上（エンパワーメント）

- ・面接や地域活動支援センター事業の利用等を通して、様々な生活に必要なマナーやスキルの習得、将来の目標・目標達成の意識・動機づけ、モチベーションの維持・向上のサポートをします。また、自己マネジメント力(セルフコントロールや連絡調整能力等)の向上のため、元々の能力を発揮できるよう、必要且つ限定したサポートを配慮しています。

④ピアカウンセリング

- ・「ピアカウンセリング」自体は実施していません。

当事者の方の経験や体験を発表する場の提供、協力のサポートをしています。現状では地域活動支援センター事業のオープンスペースにおいては、当事者の方同志の情報交換、互いに相談し合う等の方が自然に形成される場になるように努めています。

【当事者ボランティア登録】

- ・当事者の方の希望による登録制
- ・当事者の体験談などの発信・発表の機会の創出等
- ・外部から当事者への依頼の受付と登録している希望者との調整
- ・2021年度以降、2名登録

⑤権利擁護

- ・日常生活における日々の判断、危機的な状況における対応や判断等、当事者が物事を決める為に、当事者の障害特徴に合わせた説明の工夫や理解の方法等についてのご相談をします。ただし、代理で決定することは出来ませんので、必要時には、成年後見人や権利擁護事業等へのつなぎのサポートをします。

⑥援助のネットワーク作りや連携、必要時に専門機関へのつなぎ等

- ・当事者の個別の状況や必要性により、医療機関や関係機関との連絡調整、連携等を図ります。

⑦就職活動や就労定着等

- ・就職に関する情報提供や就職に関する色々な相談、応募書類等の作成の支援、ハローワークとの連絡調整・連携、ハローワークへの同行、必要時には、職場との連絡調整、職場訪問等を行います。また、必要時には、就労支援センターその他の機関への相談・繋ぎをサポートします。

⑧その他、自立した日常生活又は社会生活に必要なこと

- ・必要時には、部屋の掃除や片付け、家計簿の記入、家計相談等、家事に関するサポートを行います。また、退院後の地域での生活についての相談を行います。

* 利用実績

年間延べ 相談利用者数	年間 開所日	1日当たり 相談利用者数	年間延べ利用者数 内訳				
			電話	面接	訪問	メール	その他
9,463名	245日	38.6名	4,089	2,109	1,517	1,593	155

2) 特定相談支援事業

- ・相談支援専門員が障害福祉サービス等の利用にかかる様々な相談支援を行います。
- ・サービス等利用計画案、サービス等利用計画及び継続サービス利用支援（モニタリング報告書）の作成をし、市役所に提出します。

* 2023年3月末現在 計画相談利用者実人数

継続	2022年度新規	2022年度終了
85名	3名	8名

※2013年度から開始、総実人数 168名

3) 一般相談支援事業

- ・地域移行、地域定着支援利用者実績：0名
(障害者等相談支援事業の相談支援のなかで対応)

4) 関係機関との連携及び市町村相談支援機能強化事業

(有資格配置) 社会福祉士 1名、精神保健福祉士 3名、看護師 1名、保健師 1名
相談支援専門員 3名

東京都精神障害者地域移行促進事業における地域移行関係職員に対する研修(精神障害関係従事者養成研修)修了した相談支援専門員 1名
介護支援専門員 1名、介護福祉士 1名

①専門的な相談支援を要する困難ケース等の対応

- ・医療、高齢、児童等、他の機関との連携を特に要するケース等があります。

②日野市地域自立支援協議会を構成する指定特定相談支援事業者又は指定一般相談支援事業者に対する専門的な指導・助言など

- ・必要時に、相談や助言等を行います。

③障害者等相談支援事業の業務を遂行するため、必要に応じて関係機関を集め、連絡調整会議等の開催

- ・個別ケースにおいて、ケア会議及び連絡調整等を行います。
- ・ゆうき連絡協議会を開催し、当事業が円滑に実施出来るよう、関係機関と様々な課題を協議しています。

*実績

年間延べケア会議開催数	年間延べ連絡／調整件数
102	136

5) その他の事業

- ・関係機関との連絡調整、地域ボランティアの育成、障害に対する理解促進を図るための普及啓発などの活動を行っています。
- ・市民のボランティアの受け入れや相談・調整の実施
- ・「こころの健康ガイドブック」の配布と改訂、パンフレットの配布

(1) 委託事業

①精神障害者緊急在宅サポート事業の受託

月	利用人員	延べ利用者数	支援回数
合計	0	0	0

②生活保護金銭管理・家計相談支援事業の受託

月	利用人員	延べ利用者数	支援回数	時間
合計	354	2,718	2,718	877.2

③生活保護健康管理支援事業の受託

月	利用人員	延べ利用者数	支援回数	時間
合計	187	1,416	1,416	888.2

(2) 関係機関との連携

- ・日野市、南多摩保健所、多摩総合精神保健福祉センター、日野精神障害者家族会「いずみ会」、日野市社会福祉協議会、日野市内・市外の関係する医療機関、ハローワーク八王子、東京障害者職業センター多摩支部、包括支援センター、他障害施設及び介護保険事業に関係する各事業所等と必要時に連携を図ります。

・参加会議等

ゆうき連絡協議会主催（年4回 6/23、9/22、12/22、3/16）

＜『こころの健康ガイドブック』編集委員会として開催＞

とうきょう会議 地域生活支援センター部会への加盟

日野市地域自立支援協議会（本会）（年2回 6/29、2/15）

日野市地域自立支援協議会 相談支援部会

（年6回開催、5/18、7/19、9/26、11/10、1/12、3/23）

日野市障害者差別解消支援地域協議会（年2回 7/22、1/27）

日野市精神障害者等支援協議会（年2回 10/28、2/6）

わがまる福祉支援体制強化事業事例検討協議会（年3回 1/24、2/28、3/28）

精神障害者グループホーム入居等協議会（3月／書面開催）

障害支援区分判定等審査会

その他の会議等

(3) 講師の派遣

地域及び機関への講師などの派遣協力を行います。

(4) その他

日野市障害者差別解消推進条例に基づく障害を理由とする差別に関する相談窓口

4. 研修

1) 内部研修：ケースカンファレンス等を持ち、相談支援のスキルアップを図ります。

ピアスーパービジョン、法人内部の研修への参加を行います。

2) 外部研修：東京都精神障害者地域移行促進事業における地域移行関係職員に対する研修に参加を行います。

5. 新型コロナウイルス感染予防への対策・対応等について

【課題】

- ・室内等の設備・環境から利用者の距離が十分に保てない、接触する等の状況が想定
- ・精神科疾患以外に、生活習慣病や慢性疾患を抱えた利用者が多い
- ・精神障害の特徴を考慮し、社会情勢を踏まえても常識的な対応が望まれる
- ・利用者の日常生活を鑑み、感染予防対策や自粛への対応が困難な利用者が想定
- ・今後の相談支援の継続を考えた場合、相談に従事する職員のリスクを軽減

【対策・対応】

- ・検温、手洗い、うがい、マスクの着用の徹底、手指消毒剤を各部屋等に設置しています。
- ・各室で、換気の確保、空気清浄機の常時設置、アクリル板の設置、館内の清掃・消毒の徹底を実施しています。
- ・来所者には「健康チェック表」の記入を依頼し、体調把握に努めています。
- ・訪問相談や面接相談を控える当事者に対して、電話相談・Zoomの使用を実施しています。
- ・感染予防対策の意識の強化を図る為、地域活動支援センター事業において、感染対策の学習会の企画・実施や、寄付分のマスクを配布しています。
- ・登録会員向けのおたよりの編集に際して、外出自粛している利用者もいることから、安心して来所できるよう、相談し易くなるよう、内容の工夫（例えば、カラー印刷頁の増など）を図っています。また、おたより送付時に感染時の対応やワクチン接種等に関する資料を共に送付しています。
- ・相談対応時に、話題提供も行い、感染予防の意識の強化に努めています。
- ・法人内の他事業所での感染者発生に際し、利用者・家族に通知を発送しています。
- ・職員についても、毎日の検温、出勤時の健康状況報告、手洗い、うがい、マスク（不織布）着用を徹底しています。

地域生活支援センターゆうき

地域活動支援センター事業

2022(令和4)年度 事業報告

1. 運営

- 1) 対象地域 日野市
2) 職員体制 常勤3名 非常勤4名
3) 開所日時 月曜日～金曜日 9時30分～17時30分
(ただし、祝日及び12月29日～1月3日は休館日、その他臨時休館日)
4) 利用対象 日野市地域生活支援事業利用者証の受給者及び主として心の病の方でゆうき会員登録をされた方

今年度会員登録者数	更新	新規登録	再登録
122名	106名	12名	4名

* 地域生活支援センター開設からの登録者 延べ人数 489名

2. 財源

- ・障害者総合支援法による指定特定相談支援事業・指定一般相談支援事業・地域活動支援事業（I型）を一体的に運営し、日野市からの受託（委託契約費等）による

3. サービス内容

1) 基礎的事業

- ・地域生活を送る上での様々な活動（創作的活動、生産的活動の機会の提供等）や社会との交流等の支援を進めるための活動を実施しています。

* 利用実績（詳細は別紙を参照）

年間延べ利用者数	年間開所日	1日当たり利用者数	年間延べ利用者 内訳	
			オープンスペース	プログラム
3,630名	243日	14.9名	1,665	1,965

(1) オープンスペース: 9時30分～12時、13時30分～16時まで

内容 気軽に、自由に過ごす居場所、生活リズムを整える目的や他者との交流を図る等お茶の提供（コロナ感染状況により、一時的な提供中止あり）

(2) プログラム活動の実施

内容 社会生活能力の維持・向上、活動の幅を広げる等のステップアップ、活動を通してのコミュニケーションの練習及び対人スキルの能力の向上を目指す等の目的で、各プログラムを実施しています。

- ・創作活動（利用者の方が主体的に参加出来るよう実施）

開所日: イラスト描き、塗り絵、折り紙、フェルトマスコット作り、刺し子、メモ紙切り、雑巾づくり、ペン習字、パソコン入力作業（ワード・エクセル）等

- ・ウェルカムボード作り（テーマに沿った創作活動）

月5日間実施: テーマに沿って個別に創作し、翌月のウェルカムボードの装飾等

- ・おたよりの発送作業（月1回実施）

折り作業、封入・封かん作業

- ・編み物（ボランティアの方に講師を依頼、月1回実施予定）

実施回数: 10回（7月、8月は休み）

- ・生活に関する講座「みんなで学ぼう」
個別対応の講座として実施（資料配布と説明、動画視聴等）
実施回数4回：6月「洗濯物の干し方の基本と工夫」
9月「災害に対するご自宅での備えについて
～防災備蓄って何を準備したらいいの？～」
11月「野菜を食べよう～野菜の保存の仕方の工夫と冷凍のコツ～」
2月「おうちトレーニング～自宅で簡単にできる運動～」
- ・その他のプログラム（新型コロナ感染対策として、個別に参加できる形式にて実施）
【創作】実施回数2回：7月、8月「風鈴づくり」
12月「オリジナルの箸袋と箸置きを作ろう」
【季節に合わせた散歩】
実施回数1回：6月高幡不動あじさいまつり
11月高幡不動もみじまつり（参加者なしのため中止）
【クリスマス】
実施回数1回：12月「ハッピークリスマス」
個別参加型のお楽しみイベントとして実施
- ・その他 寄附により、ハロウィンお菓子配布（10月）、マスクの配布（1月）

（3）ピアサポートによる活動

内容：当事者がお互いに相談し合えるよう、主体的にプログラム活動が取り組めるよう、創作活動のメニュー表の提示や行事等の企画運営への参加募集を実施しています。また、オープンスペースにおいては、当事者の方同志の情報交換や交流、互いに相談し合える等のことが自然に形成される場になるように努めています。

- ・当事者同士の交流や生活の情報交換の機会「みんなの暮らしの掲示板」
テーマに沿って、各自が用紙に書き込み、掲示板に掲示
4～5月：「今、一番のお気に入りやお勧めを教えてください」
6～7月：「夏支度～どんなことをしていますか？」
8～9月：「考えよう！備えよう！防災の日」
10月：「好きなお菓子、今のお勧めのお菓子を教えてください」
12月：「好きな野菜、嫌いな野菜は何ですか？」
1月：「2023年はどんな1年にする？」
2月：「普段、健康や体調を整えるために、気をつけていること、工夫していること、これからやりたいこと、などを教えてください」
3月：「日野市のおすすめスポットを教えてください」

内容：2022年度「こころの健康ガイドブック」改訂のための編集活動

ゆうき会員より編集委員を募り、編集会議出席、編集委員会（ゆうき連絡協議会）出席、テーマに沿った体験談の執筆、イラスト作成を実施しました。

編集会議での意見を元に「改訂（案）」を作成し、編集委員会（ゆうき連絡協議会）で協議検討する流れで、改訂を行いました。

編集委員協力：7名

（4）その他

内容：パソコン利用（ワード・エクセルの練習、就活書類の作成等）

市民、関係機関等の見学や体験参加の受入：1名（8回）

就労訓練及び機会の創出（清掃等アルバイトの障害雇用の実施）：1名実施

2) 関係機関との連携

- ・日野市、南多摩保健所、多摩総合精神保健福祉センター、日野精神障害者家族会「いずみ会」、日野市社会福祉協議会、日野市内・市外の関係する医療機関、ハローワーク八王子、東京障害者職業センター多摩支部、包括支援センター、他障害施設及び介護保険事業に関係する各事業所等と必要時に連携を図ります。

3) その他

- ・ボランティアの受け入れ、相談や調整を行います。：1名（編み物）

4. 研修

- ・内部研修：ケースカンファレンス等を持ち、相談支援のスキルアップを図ります。

5. 新型コロナウイルス感染予防への対策・対応等について

【課題】

- ・室内等の設備・環境から利用者の距離が十分に保てない、接触する等の状況が想定
- ・精神科疾患以外に、生活習慣病や慢性疾患を抱えた利用者が多い
- ・精神障害の特徴を考慮し、社会情勢を踏まえても常識的な対応が望まれる
- ・利用者の日常生活を鑑み、感染予防対策や自粛への対応が困難な利用者が想定
- ・今後の相談支援の継続を考えた場合、相談に従事する職員のリスクを軽減

【対策・対応】

- ・検温、手洗い、うがい、マスクの着用の徹底、手指消毒剤を各部屋等に設置しています。
- ・各室で、換気の確保、空気清浄機の常時設置、アクリル板の設置、館内の清掃・消毒の徹底を実施しています。
- ・来所者には「健康チェック表」の記入を依頼し、体調把握に努めています。
- ・訪問相談や面接相談を控える当事者に対して、電話相談・Zoomの使用を実施しています。
- ・感染予防対策の意識の強化を図る為、地域活動支援センター事業において、感染対策の学習会の企画・実施や、寄付分のマスクを配布しています。
- ・登録会員向けのおたよりの編集に際して、外出自粛している利用者もいることから、安心して来所できるよう、相談し易くなるよう、内容の工夫（例えば、カラー印刷頁の増など）を図っています。また、おたより送付時に感染時の対応やワクチン接種等に関する資料を共に送付しています。
- ・相談対応時に、話題提供も行い、感染予防の意識の強化に努めています。
- ・法人内の他事業所での感染者発生に際し、利用者・家族に通知を発送しています。
- ・職員についても、毎日の検温、出勤時の健康状況報告、手洗い、うがい、マスク（不織布）着用を徹底しています。

外部サービス利用型指定共同生活援助 ヴィレッチたんぽぽ

2022(令和4)年度 事業報告

1. 運営

1) 利用者状況 (定員 8名: 本体住居 7名 サテライト型住居 1名)

- ・利用者総数 (2022年4月~2023年3月) 8名
- ・在籍者数 (2023年3月末) 7名
- ・年間延べ利用者数 2572名 開所日数 365日 平均利用者数 7.1人/日
- ・新規利用者数 1名
- ・退所者数 1名

2) 職員体制

- ・常勤職員 1名 非常勤職員(世話人) 8名
- ・顧問医 1名

3) 開所日時

- ・交流室開所時間 月曜日~金曜日 15時30分~18時00分
土日祝日、年末年始 9時20分~12時00分

2. 財源の確保

- ・訓練等給付費
- ・補助金(日野市)
- ・利用者負担金 他

3. 事業内容

1) 生活相談、援助

- ・月曜日~金曜日 9時00分~18時00分 ※緊急時は携帯電話で対応

2) 食事提供

- ・月、火、木、金曜日の夕食の提供

3) 世話人居室訪問

- ・世話人による家事援助(生活スキル向上を目的とした支援)

4) 受託居宅介護サービス

- ・受託居宅介護サービス事業者による身体介護を伴う居宅介護サービス

5) プログラム活動

- ・利用者ミーティング
- ・余暇活動(創作、掲示物、イベント等)

4. 健康管理

- ・日野市特定検診
- ・個別健康相談

5. 関係機関等との連携

- ・地域生活支援センターゆうき、日野市障害福祉課、生活福祉課、高齢福祉課、受託居宅介護サービス事業者、居宅介護支援事業所他

6. 研修

・外部研修

感染拡大予防に関する研修、相談・支援力向上研修、障害者グループホーム従事者基礎研修

・法人内部研修

相談支援研修、障害者差別解消研修、防災研修、虐待防止・身体拘束適正化研修、権利擁護研修、情報セキュリティ・個人情報保護研修

7. 虐待防止対応

・虐待防止対応規程の制定及び虐待防止対応マニュアルの整備

・虐待防止委員会及びリスクマネジメント委員会の開催

・虐待防止対応に関する研修の実施

8. その他

・安全管理、防火管理点検の実施

・精神保健福祉援助実習学生の受け入れ

・防災訓練の実施

・「福祉サービスに関する苦情解決への申し出」に対する受付なし

9. 総括

1) 事業所運営

・新型コロナウイルス感染症への感染対策として、利用者と職員の検温、マスク着用、手指消毒の徹底、室内の換気、消毒を行いました。

・民間アパートの1室を法人が借り上げて運営する、グループホームサテライト型事業を開始しました。居室が交流室から離れたアパートで、隣室はグループホームの一室であることを知らない一般の方の住まいのため、より一人暮らしに近い環境となっています。

・精神障害者グループホーム入居等協議会の終了、法人内での協議検討へ。これまで行政等の関係機関の方に委員となっただき、現利用者の報告及び新規利用申請者の受入れ等について協議検討を行ってきましたが、日野市障害福祉課より提案を受け、今後は法人内に協議検討の場を設けることに変更しました。

・2006年に制定したグループホーム利用規則の見直しを行いました。

・日野市グループホーム事業者連絡会に出席しました。

・日野市福祉のしごと相談・面接会に参加しました。

2) 利用者

・2022年度は、グループホーム本体住居7名、サテライト型住居1名の定員8名として、利用者7名でスタートしました。1名新規利用があり、1名退所されました。

・利用者8名について、ケアマネジメントを取り入れた個別支援計画の作成・実施・評価を行い、ケアマネジャー会議を月1回開催しました。

・交流室利用の時間帯を広げて、利用者の方が顔を合わせて一緒に過ごすことができるようにしました。グループホーム周辺の情報交換、他の方の日中活動がんばっている、時には苦労している話や、居室での様子をうかがえるようになったことで、ご自身の利用目的や目標を意識してグループホームで過ごすようになってきています。

3) プログラム活動

・利用者ミーティング（4月、2月）

・余暇活動

○創作

居室や交流室に飾る、季節の飾り作りをしました。希望者で、刺し子コースターや再生紙を使用した紙バンドでかご作りを行いました。

○掲示板にひとこと

テーマに沿ってひとこと書いて交流室内に掲示し、交流を図りました。

テーマ「ひとこと自己紹介」

「そうじに関すること」

「願いごと（七夕の笹に飾る）」

「好きなことば（風鈴の短冊に書く）」

「おすすめ健康法」

「新年の抱負（絵馬に書く）」

○イベント

4月 お花見散歩 日野市役所へ桜を見に出かけました。

12月 クリスマス会 ゲーム、出し物（コップで演奏／ダンス）等を行いました。

3月 交流イベント 利用者の方が持ち寄ったカードゲームを行いました。

障害福祉サービス 指定居宅介護事業所 ういず

2022(令和 4)年度 事業報告

1. 運営

1) 対象地域 日野市

2) 利用対象

・日野市にお住まいで、福祉サービス受給者証の交付を受けた方

・移動支援の利用者証の交付を受けた方

・2022年4月～2023年3月

居宅介護利用者数	新規利用者数	休止・終了者数
24名	1名	5名

・移動支援利用者数 16名

3) 職員体制

・常勤職員 1名 非常勤職員 3名 登録ヘルパー11名

・職員の資格

介護福祉士 6名、2級ホームヘルパー5名、介護職員初任者研修 1名、知的障害者ガイドヘルパー1名、全身性障害者ガイドヘルパー1名、同行援護従事者 2名

4) サービス提供日時

【窓口】

・月曜日から金曜日 9時00分から17時00分

・祝日及び12月29日から1月3日はお休み

【サービス実施時間】

・月曜日から土曜日 8時00分から18時00分

・日曜、祝日、12月29日～1月3日は要相談

2. 財源の確保

1) 介護給付費、移動支援事業等による事業収入

2) 利用者の利用料金（自己負担分）等

3. サービス内容

1) 居宅介護

①家事援助（掃除、洗濯、調理など、共に行う家事）

②通院介助（病院への移動、通院先での介助、市役所等での手続きに伴う介助）

2) 行動援護（障害により、行動に著しい困難を有する方への外出時の援助）

3) 重度訪問介護（肢体不自由等があり、常に介護を必要とする方への援助）

4) 同行援護（視覚障害により、移動等に著しい困難を有する方の外出時の援助）

5) 移動支援（屋外での移動・外出援助が必要な方への支援）

6) 受託居宅介護（グループホームからの委託により、身体介護が必要な利用者への援助）

7) 自費サービス（制度適用外のサービス）

4. サービス提供

利用者数 障害区分別（2022.4月～2023.3月 実績）

区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
0	13	10	1	0	0	24

年間利用者数及び延べ人数

障害福祉サービス		日野市地域生活支援事業		その他	
居宅介護等		移動支援		自費サービス	
利用者数	延べ人数	利用者数	延べ人数	利用者数	延べ人数
254	899	132	349	38	91
実人数合計	424	延べ人数合計	1339		

5. 健康管理

- ・常勤職員、非常勤職員ともに年1回の健康診断受診

6. 関係機関との連携

- ・日野市、利用者が関係する医療機関、相談機関、通所施設、入居施設 他

7. 研修

- 1) 新任ヘルパーには採用時研修を実施
- 2) ヘルパー定例研修会・事例検討会（月1回）、ヘルパー個別研修（年1回）の実施
- 3) 法人内部研修・委員会の実施
 - ・相談支援研修、障害者差別解消研修、防災/感染症研修、虐待防止・身体拘束適正化（研修・委員会）、権利擁護研修、情報セキュリティ・個人情報保護研修
 - ・リスクマネジメント委員会（月1回）

8. その他

- ・虐待防止対応規定の制定及び虐待防止対応マニュアルの整備

9. 総括

- 1) 利用者状況について
 - ・居宅介護の利用者は、年度当初は23名、新規利用者が1名、終了・休止の方が5名あり、年度末の利用者は19名となりました。利用者数としては減少の傾向です。
 - ・移動支援の利用者は、月平均11名。買い物同行、余暇活動の同行のご利用がありました。
 - ・受託居宅介護はヴィレッヂたんぼぼにおいて、身体介護が必要な方の支援を行いました。
 - ・自費サービスは、制度で対応できない自宅の大掃除やごみの運搬等の支援を行いました
- 2) 事業所運営について
 - ・「共に行う支援」を基本とし、在宅生活が安定して送れるよう支援を行いました。
 - ・利用者個々の状況を把握し、サービス等利用計画に基づいた介護計画、手順書等の作成、実施、評価を行い、より個別ケースに対応した支援を行いました。
 - ・利用者のケア会議等に参加し、在宅支援の役割が担えるよう連携に努めました。
 - ・前年度同様に新型コロナウイルス等感染防止対策行いながらサービスを実施しました。
- 3) 人材について
 - ・定例の研修会においては、利用者ごとの支援方針、問題点や改善策についてヘルパー間で話し合い、情報共有することで、サービスの質の向上につながるよう努めました。
 - ・一人の利用者に対し、複数のヘルパーが担当できる体制を継続し、少ない人員でやりくりができるよう調整を行いました。又、これにより利用者の生活状況や体調などの変化にも多面的な視点を持てるようになりました。
 - ・人材確保の取り組みとして「日野市福祉のしごと相談・面接会」に参加をしました。
 - ・ヘルパーの処遇を改善するため、加算を取得するための取り組みを行いました。

介護保険 指定訪問介護事業所 ヘルパーセンターういず

2022(令和4)年度 事業報告

1. 運営

1) 対象地域 日野市

2) 利用対象

- ・要介護1～5の認定を受けた方
- ・在宅生活を基本としながら、身体介護、生活援助が必要な方

3) 職員体制

・常勤職員1名 非常勤職員3名 登録ヘルパー11名

・職員の資格

介護福祉士7名、2級ホームヘルパー5名、介護職員初任者研修1名、介護支援専門員2名

4) サービス提供日時

【窓口】

- ・月曜日から金曜日 9時00分から17時00分
- ・祝日及び12月29日から1月3日はお休み)

【サービス実施時間】

- ・月曜日から土曜日 8時00分から18時00分
- ・日曜、祝日、12月29日～1月3日は要相談

2. 財源の確保

- ・介護給付費収入
- ・利用者の自己負担分による収入

3. サービス内容

1) 生活援助

- ・掃除、洗濯、調理、日用品の買い物、その他の一般的な家事等

2) 身体介護

- ・排泄、食事、入浴、整容等、移動、移乗、通院等に関する介助等
- ・自立支援のための見守りの援助、利用者と共にいる家事など

4. サービス実施実績

利用実人数	延べ人数
48名	349名

(介護度別 利用者数)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
3	3	1	0	0	7

5. 健康管理

- ・常勤職員、非常勤職員ともに年1回の健康診断受診

6. 関係機関との連携

- ・日野市高齢福祉課、居宅介護支援事業所、利用者が関係する医療機関、相談機関、通所施設等との連携

7. 研修

- 1) 新任ヘルパーには採用時研修を実施
- 2) ヘルパー定例研修会・事例検討会（月1回）、個別研修の実施
- 3) 法人内部研修・委員会の実施
 - ・相談支援研修、障害者差別解消研修、防災/感染症研修、虐待防止・身体拘束適正化（研修・委員会）、権利擁護研修、情報セキュリティ・個人情報保護研修
 - ・リスクマネジメント委員会（月1回）
- 4) 外部研修（東京都、日野市等で実施する研修）への参加
 - ・2022年度 東京都高齢者虐待防止研修

8. その他

- ・虐待防止対応規定の制定及び虐待防止対応マニュアルの整備

9. 総括

- 1) 利用者状況について
 - ・年度初めの利用者は5名、新規の利用者は2名ありましたが、入院、入所により終了となった方が2名あり、年度末の利用者数は5名でした。
- 2) 事業運営について
 - ・在宅生活を継続するため、利用者の健康面、精神面の安定を維持すること、「出来る力」を尊重し、自立支援・重度化防止の視点を取り入れた支援を中心に行いました。
 - ・利用者個々の状況を踏まえたサービスを実施するため、ケアプランと連動した介護計画、手順書等の作成、実施、評価を行い、より個別ケースに対応した支援を行いました。
 - ・前年度同様に新型コロナウイルス等感染防止対策行いながらサービスを実施しました。
 - ・サービス担当者会議、地域ケア会議等に参加し、関係機関との連携に努めました。
 - ・日野市介護サービス事業者連絡会に参加しました。
- 3) 人材について
 - ・ヘルパー研修会においては、利用者ごとの支援方針、問題点や改善策についてヘルパー間で話し合い、情報共有することで、サービスの質の向上につながるよう努めました。
 - ・一人の利用者に対し、複数のヘルパーが担当できる体制を継続し、少ない人員でやりくりができるよう調整を行いました。又、これにより利用者の生活状況や体調などの変化にも多面的な視点を持てるようになりました。
 - ・人材確保の取り組みとして「日野市福祉のしごと相談・面接会」に参加をしました。
 - ・ヘルパーの処遇を改善するため、加算を取得するための取り組みを行いました。

中小企業勤労者のメンタルヘルスケア事業

「こころの相談・あんしんホットライン」

2022(令和4)年度 事業報告

1. 事業目的

- ・市内在勤、在住の勤労者、事業主等の心の健康を守るため

2. 実施内容

- ・不眠で眠れないといった悩みや職場でのメンタルヘルス不調等の悩みなど、様々な悩みについてお聴きする。
- ・相談の状況に応じ、必要な情報提供などを行う。

3. 対象者

- ・勤労者福祉サービスセンターの利用会員、ご家族
- ・市内在勤、在住の勤労者及びその家族、事業主

4. 実施方法

- 1) 電話相談 月曜日～金曜日 9時30分～17時30分
(ただし、祝日及び12月29日～1月3日は休館日、その他臨時休館)
- 2) 個別相談 必要時に個別面談を実施
- 3) 相談場所 社会福祉法人日野市民たんぽぽの会 地域生活支援センターゆうき
日野市高幡 864-15 電話 042-591-6321

5. 実績

相談回数・相談時間

	相談回数		調整件数	相談時間 (分)
	電話相談	来所相談		
合計	1	4	0	140

社会福祉法人 日野市民たんぽぽの会

2022（令和4）年度 会計報告

1. 資金収支計算書
2. 事業活動計算書
3. 貸借対照表
4. 財産目録

法人単位資金収支計算書

(自)2022年4月1日

(至)2023年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	1,965,000	1,325,285	639,715	
	就労支援事業収入	14,780,000	13,413,305	1,366,695	
	障害福祉サービス等事業収入	156,810,000	151,989,222	4,820,778	
	借入金利息補助金収入	67,000	67,770	-770	
	経常経費寄附金収入	3,510,000	3,339,588	170,412	
	受取利息配当金収入	24,100	4,286	19,814	
	その他の収入	3,006,800	3,005,000	1,800	
	事業活動収入計(1)	180,162,900	173,144,456	7,018,444	
	支出				
人件費支出	114,760,000	113,807,449	952,551		
事業費支出	9,281,000	8,324,497	956,503		
事務費支出	42,106,400	39,299,888	2,806,512		
就労支援事業支出	14,805,000	13,437,630	1,367,370		
支払利息支出	71,000	70,189	811		
事業活動支出計(2)	181,023,400	174,939,653	6,083,747		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		-860,500	-1,795,197	934,697	
施設整備等による収支	収入			0	
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出	1,128,000	1,128,000	0	
	固定資産取得支出	2,197,000	2,180,570	16,430	
施設整備等支出計(5)	3,325,000	3,308,570	16,430		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		-3,325,000	-3,308,570	-16,430	
その他の活動による収支	収入				
	積立資金取崩収入	6,280,000	6,280,000	0	
	その他の活動収入計(7)	6,280,000	6,280,000	0	
	支出			0	
	その他の活動支出計(8)	0	0	0	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		6,280,000	6,280,000	0	
予備費支出(10)		457,407	—	457,407	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		1,637,093	1,176,233	460,860	
前期末支払資金残高(12)		82,043,108	83,342,519	-1,299,411	
当期末支払資金残高(11)+(12)		83,680,201	84,518,752	-838,551	

事業区分資金収支内訳表

(自)2022年4月1日 (至)2023年3月31日

(単位:円)

勘定科目		本部	たかはた	ひの	合計	内部取引消去	事業区分合計
事業活動による収支	収入						
	介護保険事業収入	0	1,912,933	0	1,912,933	-587,648	1,325,285
	就労支援事業収入	0	10,137,314	4,353,584	14,490,898	-1,077,593	13,413,305
	障害福祉サービス等事業収入	0	79,129,929	72,859,293	151,989,222	0	151,989,222
	借入金利息補助金収入	0	0	67,770	67,770	0	67,770
	経常経費寄附金収入	722,388	1,326,000	1,291,200	3,339,588	0	3,339,588
	受取利息配当金収入	2,224	1,230	832	4,286	0	4,286
	その他の収入	0	1,331,800	1,673,200	3,005,000	0	3,005,000
	事業活動収入計(1)	724,612	93,839,206	80,245,879	174,809,697	-1,665,241	173,144,456
	支出						
	人件費支出	0	68,265,166	45,542,283	113,807,449	0	113,807,449
事業費支出	0	4,365,073	3,959,424	8,324,497	0	8,324,497	
事務費支出	600,585	17,807,379	21,496,411	39,904,375	-604,487	39,299,888	
就労支援事業支出	0	10,140,217	4,358,167	14,498,384	-1,060,754	13,437,630	
支払利息支出	0	0	70,189	70,189	0	70,189	
事業活動支出計(2)	600,585	100,577,835	75,426,474	176,604,894	-1,665,241	174,939,653	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	124,027	-6,738,629	4,819,405	-1,795,197	0	-1,795,197	
施設整備等による収支	収入				0		0
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	0	0	0
	支出						
	設備資金借入金元金償還支出	0	0	1,128,000	1,128,000	0	1,128,000
	固定資産取得支出	414,590	1,215,980	550,000	2,180,570	0	2,180,570
施設整備等支出計(5)	414,590	1,215,980	1,678,000	3,308,570	0	3,308,570	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-414,590	-1,215,980	-1,678,000	-3,308,570	0	-3,308,570	
その他の活動による収支	収入						
	積立資金取崩収入	0	6,280,000	0	6,280,000	0	6,280,000
	その他の活動収入計(7)	0	6,280,000	0	6,280,000	0	6,280,000
	支出				0		0
	その他の活動支出計(8)	0	0	0	0	0	0
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	6,280,000	0	6,280,000	0	6,280,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		-290,563	-1,674,609	3,141,405	1,176,233	0	1,176,233
前期末支払資金残高(12)		18,925,872	33,393,529	31,023,118	83,342,519	0	83,342,519
当期末支払資金残高(11)+(12)		18,635,309	31,718,920	34,164,523	84,518,752	0	84,518,752

法人単位事業活動計算書

(自)2022年4月1日 (至)2023年3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	1,325,285	1,374,454	-49,169
		就労支援事業収益	13,413,305	12,758,274	655,031
		障害福祉サービス等事業収益	151,989,222	158,261,842	-6,272,620
		経常経費寄附金収益	3,339,588	2,133,000	1,206,588
		サービス活動収益計(1)	170,067,400	174,527,570	-4,460,170
	費用	人件費	114,192,450	113,259,664	932,786
		事業費	8,324,497	8,594,748	-270,251
		事務費	39,716,555	39,124,443	592,112
		就労支援事業費用	13,795,331	14,040,019	-244,688
		減価償却費	6,697,902	6,328,323	369,579
国庫補助金等特別積立金取崩額		-3,381,037	-3,367,837	-13,200	
サービス活動費用計(2)	179,345,698	177,979,360	1,366,338		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		-9,278,298	-3,451,790	-5,826,508	
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	67,770	83,562	-15,792
		受取利息配当金収益	4,286	4,343	-57
		その他のサービス活動外収益	3,005,000	36,882	2,968,118
	サービス活動外収益計(4)		3,077,056	124,787	2,952,269
	費用	支払利息	70,189	86,545	-16,356
		サービス活動外費用計(5)		70,189	86,545
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		3,006,867	38,242	2,968,625	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		-6,271,431	-3,413,548	-2,857,883	
特別増減の部	収益			0	
		特別収益計(8)		0	
	費用			0	
		特別費用計(9)		0	
特別増減差額(10)=(8)-(9)		0	0	0	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		-6,271,431	-3,413,548	-2,857,883	
繰越活動増減の部	前期繰越活動増減差額(12)		96,043,037	96,219,585	-176,548
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		89,771,606	92,806,037	-3,034,431
	基本金取崩額(14)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)		6,280,000	3,360,000	2,920,000
	その他の積立金積立額(16)		0	123,000	-123,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		96,051,606	96,043,037	8,569

社会福祉事業 事業区分事業活動内訳表

(自)2022年4月1日 (至)2023年3月31日

(単位:円)

勘定科目		本部	たかはた	ひの	合計	内部取引消去	事業区分合計
サービス活動増減の部	収益						
	介護保険事業収益	0	1,912,933	0	1,912,933	-587,648	1,325,285
	就労支援事業収益	0	10,137,314	4,353,584	14,490,898	-1,077,593	13,413,305
	障害福祉サービス等事業収益	0	79,129,929	72,859,293	151,989,222	0	151,989,222
	経常経費寄附金収益	722,388	1,326,000	1,291,200	3,339,588	0	3,339,588
	サービス活動収益計(1)	722,388	92,506,176	78,504,077	171,732,641	-1,665,241	170,067,400
	費用						
	人件費	0	68,437,833	45,754,617	114,192,450	0	114,192,450
	事業費	0	4,365,073	3,959,424	8,324,497	0	8,324,497
	事務費	600,585	17,807,380	21,913,077	40,321,042	-604,487	39,716,555
就労支援事業費用	0	10,452,460	4,403,625	14,856,085	-1,060,754	13,795,331	
減価償却費	122,414	3,648,771	2,926,717	6,697,902	0	6,697,902	
国庫補助金等特別積立金取崩額	0	-2,163,545	-1,217,492	-3,381,037	0	-3,381,037	
サービス活動費用計(2)	722,999	102,547,972	77,739,968	181,010,939	-1,665,241	179,345,698	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-611	-10,041,796	764,109	-9,278,298	0	-9,278,298	
サービス活動外増減の部	収益						
	借入金利息補助金収益	0	0	67,770	67,770	0	67,770
	受取利息配当金収益	2,224	1,230	832	4,286	0	4,286
	その他のサービス活動外収益	0	1,331,800	1,673,200	3,005,000	0	3,005,000
	サービス活動外収益計(4)	2,224	1,333,030	1,741,802	3,077,056	0	3,077,056
	費用						
支払利息	0	0	70,189	70,189	0	70,189	
サービス活動外費用計(5)	0	0	70,189	70,189	0	70,189	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,224	1,333,030	1,671,613	3,006,867	0	3,006,867	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	1,613	-8,708,766	2,435,722	-6,271,431	0	-6,271,431	
特別増減の部	収益						
	拠点区分間固定資産移管収益	0	0	11,284,724	11,284,724	-11,284,724	0
	特別収益計(8)	0	0	11,284,724	11,284,724	-11,284,724	0
	費用						
拠点区分間固定資産移管費用	11,284,724	0	0	11,284,724	-11,284,724	0	
特別費用計(9)	11,284,724	0	0	11,284,724	-11,284,724	0	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	-11,284,724	0	11,284,724	0	0	0	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	-11,283,111	-8,708,766	13,720,446	-6,271,431	0	-6,271,431	
繰越活動増減の部	前期繰越活動増減差額(12)	30,581,421	31,757,704	33,703,912	96,043,037	0	96,043,037
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	19,298,310	23,048,938	47,424,358	89,771,606	0	89,771,606
	基本金取崩額(14)	0	0	0	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	6,280,000	0	6,280,000	0	6,280,000
	その他の積立金積立額(16)	0	0	0	0	0	0
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	19,298,310	29,328,938	47,424,358	96,051,606	0	96,051,606

法人単位貸借対照表

2023年3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	92,286,159	92,209,877	76,282	流動負債	10,757,023	11,465,538	-708,515
現金預金	73,889,805	71,976,344	1,913,461	事業未払金	7,731,023	8,824,539	-1,093,516
事業未収金	17,077,729	18,715,656	-1,637,927	1年以内返済予定設備資金借入金	1,128,000	1,128,000	0
貯蔵品	11,408	23,989	-12,581	賞与引当金	1,898,000	1,512,999	385,001
原材料	36,384	42,819	-6,435	固定負債	3,102,000	4,230,000	-1,128,000
前払費用	1,270,833	1,451,069	-180,236	設備資金借入金	3,102,000	4,230,000	-1,128,000
固定資産	240,497,173	252,062,438	-11,565,265	負債の部合計	13,859,023	15,695,538	-1,836,515
基本財産	55,165,314	57,336,831	-2,171,517	純資産の部			
建物	55,165,314	57,336,831	-2,171,517	基本金	10,530,000	10,530,000	0
その他の固定資産	185,331,859	194,725,607	-9,393,748	国庫補助金等特別積立金	59,702,413	63,083,450	-3,381,037
建物	15,707,723	18,772,627	-3,064,904	その他の積立金	152,640,290	158,920,290	-6,280,000
構築物	1	1	0	人件費積立金	10,820,000	16,820,000	-6,000,000
機械及び装置	3	3	0	備品等購入積立金	16,618,010	16,618,010	0
車輛運搬具	1,768,905	2,109,860	-340,955	施設整備等積立金	120,665,000	120,665,000	0
器具及び備品	3,506,869	2,798,092	708,777	工賃変動積立金	188,264	188,264	0
権利	771,120	771,120	0	設備等整備積立金	4,349,016	4,629,016	-280,000
人件費積立資産	10,820,000	16,820,000	-6,000,000	次期繰越活動増減差額	96,051,606	96,043,037	8,569
備品等購入積立資産	16,618,010	16,618,010	0	(うち当期活動増減差額)	-6,271,431	-3,413,548	-2,857,883
施設整備等積立資産	120,665,000	120,665,000	0				
工賃変動積立資産	188,264	188,264	0				
設備等整備積立資産	4,349,016	4,629,016	-280,000				
長期前払費用	10,886,948	11,303,614	-416,666				
その他の固定資産	50,000	50,000	0				
				純資産の部合計	318,924,309	328,576,777	-9,652,468
資産の部合計	332,783,332	344,272,315	-11,488,983	負債及び純資産の部合計	332,783,332	344,272,315	-11,488,983

社会福祉事業 事業区分貸借対照表内訳表

2023年3月31日現在

(単位:円)

勘定科目	本部	たかはた	ひの	合計	内部取引消去	事業区分合計
流動資産	18,635,309	36,586,591	37,323,371	92,545,271	-259,112	92,286,159
現金預金	18,634,979	29,612,771	25,642,055	73,889,805	0	73,889,805
事業未収金		6,217,199	10,860,530	17,077,729	0	17,077,729
貯蔵品			11,408	11,408	0	11,408
原材料		36,384		36,384	0	36,384
前払費用		461,455	809,378	1,270,833	0	1,270,833
拠点区分間未収金	330	258,782		259,112	-259,112	0
固定資産	663,001	151,429,789	88,404,383	240,497,173	0	240,497,173
基本財産	0	55,165,314	0	55,165,314	0	55,165,314
建物		55,165,314		55,165,314	0	55,165,314
その他の固定資産	663,001	96,264,475	88,404,383	185,331,859	0	185,331,859
建物		3,886,704	11,821,019	15,707,723	0	15,707,723
構築物		1		1	0	1
機械及び装置		3		3	0	3
車輛運搬具		1,768,901	4	1,768,905	0	1,768,905
器具及び備品	513,001	1,497,220	1,496,648	3,506,869	0	3,506,869
権利	100,000	240,120	431,000	771,120	0	771,120
人件費積立資産		10,820,000		10,820,000	0	10,820,000
備品等購入積立資産		2,950,000	13,668,010	16,618,010	0	16,618,010
施設整備等積立資産		72,395,000	48,270,000	120,665,000	0	120,665,000
工賃変動積立資産			188,264	188,264	0	188,264
設備等整備積立資産		2,696,976	1,652,040	4,349,016	0	4,349,016
長期前払費用	0	9,550	10,877,398	10,886,948	0	10,886,948
その他の固定資産	50,000			50,000	0	50,000
資産の部合計	19,298,310	188,016,380	125,727,754	333,042,444	-259,112	332,783,332
流動負債	0	5,930,287	5,085,848	11,016,135	-259,112	10,757,023
事業未払金		4,831,287	2,899,736	7,731,023	0	7,731,023
1年以内返済予定設備資金借入金			1,128,000	1,128,000	0	1,128,000
拠点区分間未払金			259,112	259,112	-259,112	0
賞与引当金		1,099,000	799,000	1,898,000	0	1,898,000
固定負債	0	0	3,102,000	3,102,000	0	3,102,000
設備資金借入金			3,102,000	3,102,000	0	3,102,000
負債の部合計		5,930,287	8,187,848	14,118,135	-259,112	13,859,023
基本金		10,530,000		10,530,000	0	10,530,000
国庫補助金等特別積立金		53,365,179	6,337,234	59,702,413	0	59,702,413
その他の積立金		88,861,976	63,778,314	152,640,290	0	152,640,290
人件費積立金		10,820,000		10,820,000	0	10,820,000
備品等購入積立金		2,950,000	13,668,010	16,618,010	0	16,618,010
施設整備等積立金		72,395,000	48,270,000	120,665,000	0	120,665,000
工賃変動積立金			188,264	188,264	0	188,264
設備等整備積立金		2,696,976	1,652,040	4,349,016	0	4,349,016
次期繰越活動増減差額	19,298,310	29,328,938	47,424,358	96,051,606	0	96,051,606
(うち当期活動増減差額)	-11,283,111	-8,708,766	13,720,446	-6,271,431	0	-6,271,431
純資産の部合計	19,298,310	182,086,093	117,539,906	318,924,309	0	318,924,309
負債及び純資産の部合計	19,298,310	188,016,380	125,727,754	333,042,444	-259,112	332,783,332

財産目録

2023年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金	現金手元有高 各拠点現金、小口現金 合計	—	運転資金として			647,173
普通預金	三井住友銀行 高幡不動支店 1267825	—	本部			15,219,225
	多摩信用金庫 高幡不動支店 0094737	—	本部 (運営)			3,370,447
	三井住友銀行 高幡不動支店 1276177	—	本部 (給与)			解約済み
	多摩信用金庫 高幡不動支店 0229563	—	本部 (給与)			670
	三井住友銀行 高幡不動支店 1276166	—	本部 (預り金(旧))			0
	多摩信用金庫 高幡不動支店 0047861	—	本部 (預り金)			0
	三井住友銀行 高幡不動支店 1300678	—	ゆうき			124,261
	多摩信用金庫 高幡不動支店 0108371	—	ゆうき			17,231,483
	多摩信用金庫 高幡不動支店 0047852	—	ういず			1,679,140
	ゆうちょ銀行 10090-84894301	—	ヘルパーセンターういず			1,007
	多摩信用金庫 高幡不動支店 0101415	—	ヘルパーセンターういず			482,388
	多摩信用金庫 高幡不動支店 0147598	—	たかはたセンター(施設)			5,622,523
	多摩信用金庫 高幡不動支店 0147610	—	たかはたセンター(下請)			0
	多摩信用金庫 高幡不動支店 0147636	—	たかはたセンター(弁当)			357,350
	多摩信用金庫 高幡不動支店 0147644の一部	—	たかはたセンター(就労)			3,774,299
	多摩信用金庫 高幡不動支店 0003965の一部	—	たかはたセンター(積立)			208
	多摩信用金庫 高幡不動支店 0144394	—	ひのセンター(運営)			7,628,506
	多摩信用金庫 日野支店 2751709	—	ひのセンター(下請)			3,677,001
	多摩信用金庫 高幡不動支店 0094761	—	くつろぎ (施設)			8,774,098
	多摩信用金庫 高幡不動支店 0100800	—	くつろぎ (就労)			552,840
多摩信用金庫 高幡不動支店 0047844	—	ヴィレッチたんぼぼ			4,747,186	
						73,242,632
事業未収金	補助金、利用者負担金等	—				17,077,729
貯蔵品	切手	—	くつろぎ			11,408
原材料	弁当食材等	—	たかはたセンター(就労)			36,384
前払費用	家賃、駐車場代、リース料等	—				1,270,833
流動資産合計						92,286,159
2 固定資産						
(1) 基本財産						
建物	日野市高幡864-15、17 家屋番号864番15 鉄筋コンクリート造ステンレス鋼板葺3階建	H9年度	たかはた拠点で社会福祉事業に使用	155,673,000	100,507,686	55,165,314
基本財産合計						55,165,314
(2) その他の固定資産						
建物	日野市高幡864-15、17 空調、給排水工事等	H26年度	たかはた拠点で社会福祉事業に使用	11,144,974	7,258,270	3,886,704
	日野市栄町2-17-1 建物内装	H23年度	ひの拠点で社会福祉事業に使用	37,516,500	25,695,481	11,821,019
構築物		—				1
機械及び装置		—				3

車輛運搬具		—				1,768,905
器具及び備品		—				3,506,869
権利		—	電話加入権、賃貸保証金等			771,120
出資金	多摩信用金庫 高幡不動支店	—	本部			50,000
備品等購入積立資産						
	多摩信用金庫 高幡不動支店 0122129の一部	—	ゆうき			2,950,000
	多摩信用金庫 日野支店 2799556の一部	—	たんぼぼひのセンター			13,668,010
施設整備等積立資産						
	多摩信用金庫 高幡不動支店 0122129の一部	—	ゆうき			3,970,000
	多摩信用金庫 高幡不動支店 0003965の一部	—	たかはたセンター(施設)			68,425,000
	多摩信用金庫 日野支店 2799556の一部	—	たんぼぼひのセンター			43,000,000
	多摩信用金庫 日野支店 2817510の一部	—	くつろぎ			1,630,000
	多摩信用金庫 日野支店 2817528	—	ヴァレッチたんぼぼ			3,640,000
人件費積立資産						
	多摩信用金庫 高幡不動支店 0122129の一部	—	ゆうき			2,400,000
	多摩信用金庫 高幡不動支店 0047828	—	ういず			8,420,000
就労支援事業積立資産						
工賃変動積立資産						
	多摩信用金庫 日野支店 2817510の一部	—	くつろぎ			65,264
	多摩信用金庫 高幡不動支店 2799556の一部	—	ひのセンター(運営)			123,000
設備等整備積立資産						
	多摩信用金庫 高幡不動支店 0003965の一部	—	たかはたセンター(下請)			2,696,976
	0147644の一部					
	多摩信用金庫 日野支店 2799556の一部	—	たんぼぼひのセンター			1,619,695
	多摩信用金庫 日野支店 2817510の一部	—	くつろぎ			32,345
長期前払費用	自動車 リサイクル預託金	—	ひの、たかはた拠点			18,890
	礼金 H31.3.5～30年償却	H30年度	ひの拠点			10,868,058
その他の固定資産合計						185,331,859
固定資産合計						240,497,173
資産合計						332,783,332

II 負債の部

1 流動負債						
事業未払金	別紙明細	—				7,731,023
1年以内返済借入金	独立行政法人 福祉医療機構	—				1,128,000
職員預り金	社会保険料、源泉所得税等	—				0
賞与引当金		—				1,898,000
流動負債合計						10,757,023
2 固定負債						
設備資金借入金	独立行政法人 福祉医療機構	—				3,102,000
固定負債合計						3,102,000
負債合計						13,859,023

差引純資産						318,924,309
-------	--	--	--	--	--	-------------

寄附の御礼

日頃より当法人の活動に対してご理解並びにご協力、そして温かいご支援を賜りまして心より感謝申し上げます。

2022（令和4）年度に法人本部並びに各事業所に頂きましたご寄附につきまして、下記の通りご報告させていただきます。

なお、個人情報保護の観点から、個人のお名前についてはご紹介を控えさせていただきます。ご了承ください。

【個人】

個人の方から32件のご寄附をいただきました。

【団体】

一般社団法人 東京馬主協会 様
東京都共同募金会 様
株式会社 キングジム経営企画部 様
東京善意銀行 様

福祉サービスに関する苦情解決の取り組みについて

社会福祉法人日野市民たんぽぽの会では、経営する各事業の福祉サービスについて「利用者個人の権利を擁護すると共に利用者が福祉サービスを適切に利用することができるように支援する」「社会性や客観性を確保し、一定のルールに沿った方法で対応を図り、円滑、円満な解決の促進や法人の信頼や適正性の確保を図る」を目的とし、苦情解決に努めています。

「福祉サービスに関する苦情解決のための規約」に則り、解決に向けて対応させていただいた内容をご報告申し上げます。

なお、公表にあたっては個人情報やプライバシーに十分配慮し、申出人が不利益とならないものとさせていただきます。

【 報告 】

2022（令和4）年度は、苦情解決の取り組みへの申し出の受付はありませんでした。

社会福祉法人日野市民たんぽぽの会
役員紹介

【 理事長 】 野田 清大

【 理 事 】 青柳 ルミ子
新家 美和
近藤 直子
宮城 賢太
結 一純

【 評議員 】 伊藤 ゆりか
笠井 尚美
木下 菜摘
鈴木 久子
立川 雅一
樋口 義子
山岸 啓子

【 監 事 】 飯森 慎
大貫 格

【評議員選任・解任委員】 大塚 喜久子
大貫 格

※50音順

※2023年9月現在

法人各事業所連絡先

社会福祉法人 日野市民たんぽぽの会 本部

〒191-0031 日野市高幡 864-15

Tel 042-599-7299 Fax 042-599-7203

就労継続支援 B 型事業所 たんぽぽたかはたセンター

〒191-0031 日野市高幡 864-15

Tel 042-599-7299 Fax 042-599-7203

地域生活支援センターゆうき

〒191-0031 日野市高幡 864-15

Tel 042-591-6321 Fax 042-599-7203

就労継続支援 B 型事業所 たんぽぽひのセンター

〒191-0001 日野市栄町 2-17-1 都営日野栄町二丁目アパート 2 号棟 1 階

Tel 042-581-3072 Fax 042-511-3294

就労継続支援 B 型事業所 くつろぎ

〒191-0011 日野市日野本町 2-5-33

Tel 042-587-4868 Fax 042-587-4869

共同生活援助（グループホーム）ヴィレッチたんぽぽ

〒191-0031 日野市高幡 864-15

Tel 070-7424-5630

障害福祉サービス 居宅介護事業所 ういず

〒191-0031 日野市高幡 864-15

Tel 042-599-7299 Fax 042-599-7203

介護保険 訪問介護事業所 ヘルパセンターういず

〒191-0031 日野市高幡 864-15

Tel 042-599-7299 Fax 042-599-7203

機関紙「幡」 vol. 27

発行日 2023(令和5)年10月15日
監修 機関紙「幡」編集委員会
発行 社会福祉法人日野市民たんぽぽの会
〒191-0031 日野市高幡 864-15
Tel 042-599-7299 Fax 042-599-7203